

いにしえの時を超えて

隠れた秘宝と出会う。

Kyoto

京都府木津川市

KIZUGAWA

写真：十一面観音立像(海住山寺) 撮影：飛鳥園



あなたを新しい歴史の世界へ誘う  
「木津川市の文化財」

## 木津川には、 まだ知らぬ眠る歴財がある 南山城では 路傍の石仏さえも輝いている

南山城と呼ばれるこの地域は、平城京と平安京をつなぐ場として、それぞれの影響を受けて豊かな文化を育んできた。それらの中には、恭仁京跡や泉大橋跡のように地下に眠り自然の中に溶け込んで、静かな郷愁へと導いてくれる遺跡も多くある。

一方、現前とおわします仏像は、悩み多き人々にメッセージを送り続けておられる。その姿は様々で実に趣深い。世に珍しく豪華な九体の阿弥陀如来像（浄瑠璃寺）・静謐な空間にどっしりと瞑想する阿弥陀如来像（岩船寺）・神秘的な表情が女性を思わせる十一面観音像（海住山寺）・すさまじい怒りを全身で表現する蔵王権現像（神童寺）・威厳高く巨大な銅の釈迦如来坐像（蟹満寺）など語り尽くせない。清美なるものが、豊かな山川の光景の中で招いてくれる。

同志社大学 文学部教授 井上 一稔

### 浄瑠璃寺

#### 浄瑠璃寺は京都山城の国にあり



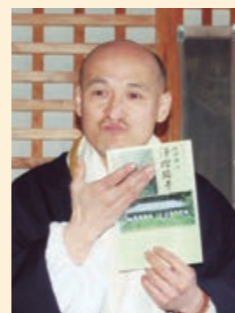
「今、奈良の浄瑠璃寺に来てるねん。」「エーッ！ここ京都なん？」

参拝の方からよく聞く言葉です。おそらく2/3位の方は、この寺は奈良にあると思って来られるようです。

まあ無理ありません。路線バス、タクシーは奈良駅から利用される方が一番多いでしょうし、ガイドブックもたいてい“奈良・大和路編”に載っています。

しかも岩船寺・浄瑠璃寺のその周辺は、明治初期までは奈良興福寺の領域にあり、その以降は奈良西大寺の末寺として続いています。

古来より京都山城の国にありながら、実質は奈良の文化圏であり続けたこの一帯は一言では表現できない様々な要素が重層的に織り込まれているようです。京都（藤原氏）の文化が奈良（興福寺＝藤原氏の氏寺）を通して山城という風土の中で表現される。浄瑠璃寺とその周辺はそんな歴史を重ねてきた地域だと思います。



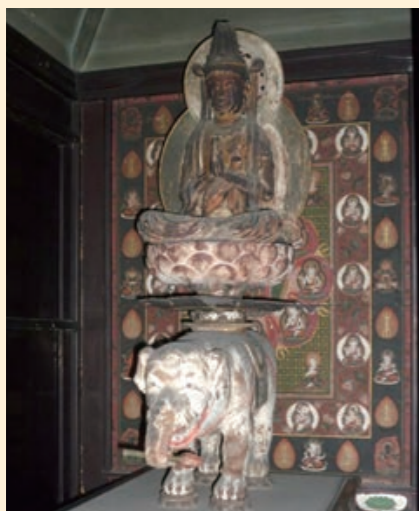
佐伯 功勝 副住職

【住所】〒619-1135  
木津川市加茂町西小札場40  
【電話】0774-76-2390

■国宝:本堂・三重塔・阿弥陀如来像・四天王像  
最寄駅/JR加茂駅・近鉄奈良駅

### 岩船寺

#### 空海の弟子「智泉」<sup>ちせん</sup>と岩船寺



数多い弟子の中でも空海が最も愛情をそそいだのが智泉です。空海の姉の子供、14歳で弟子になりました。高野山の伽藍建設に携わっていましたが、37歳で亡くなります。「哀しい哉、悲しい哉、復悲しい哉。悲しい哉、悲しい哉、重ねて悲しい哉」空海は深い悲しみの言葉を残しています。岩船寺縁起に智泉のことが出てきます。嵯峨天皇の命を受け、智泉は昼夜問わず皇孫誕生の祈願を行いました。そして翌年、見事に男の子が生まれ、後に仁明天皇となります。智泉の働きは天皇皇后の信頼を得ることになり、岩船寺の堂塔伽藍が整備されたと記録が残っています。

智泉に関するものは、仁明天皇が智泉の遺徳を偲んで建立したと伝える「三重塔」（室町・重文）やその内部に取められていた智泉作と伝える「普賢菩薩騎象像」（平安・重文）があります。又岩船寺は多くの文化的遺産を蔵し、静寂な境内には四季を通じて多くの花が咲き誇ります。関西のあじさい寺としても有名です。



植村 海宥 副住職

住所]〒619-1133  
木津川市加茂町岩船上ノ門43  
【電話】0774-76-3390

■重文:三重塔・阿弥陀如来坐像・普賢菩薩騎象像・十三重石塔  
最寄駅/JR加茂駅・近鉄奈良駅

### 海住山寺

#### 観音の浄土の寺宝



海住山寺は恭仁京や平城京、間近に春日の山並み、遠くには金剛山・葛城山を見渡せる山の中腹にあります。天平7年に聖武天皇の勅願により東大寺良弁僧正により開かれましたが、鎌倉時代に解脱上人（貞慶）が観音の浄土である補陀洛山に因んで海住山寺と名付けて再興されました。境内にはご本尊十一面観音菩薩（重文）をおまつりする本堂、解脱上人が後鳥羽上皇から拝領された仏舎利を奉安する国宝五重塔が建っています。塔は裳階（もこし）付と心柱が二階から立ち上っているという特徴があり鎌倉時代唯一の五重塔です。また内部は仏舎利を安置する厨子が設けられ、四面の扉には建立当初に画かれた絵が残り、その中の四天王像（重文）は大仏殿様の像で小さいながらも慶派の作で力強いお姿をされています。また解脱上人の念持仏として伝わる奥の院ご本尊十一面観音菩薩（重文）は45cmという小さなお像ですがとてもきれいなお姿をされています。

海住山寺には解脱上人の信仰が今も色濃くのこり、それらの寺宝は秋の特別公開時にお参り頂けます。



佐脇 貞憲 住職

【住所】〒619-1106  
木津川市加茂町例幣海住山20  
【電話】0774-76-2256

■国宝:五重塔・重文:十一面観音立像・文殊堂  
最寄駅/JR加茂駅

### 神童寺

#### 日本に一体だけの波切白不動明王が鎮座する



神童寺の歴史は古く推古天皇四（596）年、聖徳太子により開かれ自刻の千手観音を安置し瓜生山大観世音教寺と号した。白鳳四（675）年、役行者が入山し除災招福のため神童二人の助力を得て自ら蔵王権現像を彫刻し蔵王堂を草創し安置したとされている。養老六（722）年、泰澄が入山し大和の吉野山に対し北吉野山と称した。

また、神童寺には、珍しい像形の不動明王像があり怒りの形相の中にもユーモラスな雰囲気をつたえた像として、波切白不動明王と伝えていて寄木造りで像高一六二センチメートル、平安時代後期の十一世紀の造立とみられ髪は髷髪で弁髪は垂らさず、上半身は裸で、下半身は裳は両膝頭を見せたあまり例をみないお姿で、最古の部類に属するものです。

また、神童寺の現在の本尊は蔵王権現であり大変珍しい仏像で応永十三（1406）年に本堂の再建と同時期の像です。



荻原 隆和 住職

【住所】〒619-0203  
木津川市山城町神童子不晴谷112  
【電話】0774-86-2161

■重文:本堂・不動明王・蔵王権現  
最寄駅/JR橿原駅

### 蟹満寺

#### 千四百年<sup>みてら</sup>の御寺



「何故こんなところに！」蟹満寺を訪れた方は皆そう言って驚かれます。それは、仏教を篤く信仰しているわけでも無く、芸術に興味の無い方々でさえ、思わず手を合わせ、その御威光に、美しさに、涙を流される方もおられる程の“漆黒の大きく美しい仏様”に驚かれるのです。

創建より一人この場を動かさず、今も我々を導き続けられている本尊釈迦如来。凡そ千四百年の昔白鳳時代の作、国宝に指定される丈六の金銅仏。同時代の作である奈良、薬師寺の御本尊と双壁をなす傑作とされています。又、今の山号寺号の由縁である「今昔物語」等平安時代の物語集にある「蟹の恩返し」観音様のお話も世に広く知られており、毎年これに因み数百の沢蟹を放流する“蟹供養放生会”をお勤めしています。

皆さんのおいでをお釈迦さま、観音さまと共にお待ちしております。合掌



中野 泰倫 住職

【住所】〒619-0201  
木津川市山城町袴田浜36  
【電話】0774-86-2577

■国宝:釈迦如来座像  
最寄駅/JR橿原駅

# Yamashiro 山城エリア

やましろう  
往時へいざなう山背の路

**涌出宮** わきでのみや C-2

和伎座天乃夫岐岐(わきにいますあめのふきめ)神社が正式名であり、俗に涌出宮と呼ばれています。雨をもたらす神として古代農民に崇拜され、中世以来続く宮座行事は、国の重要無形民俗文化財に指定され2月の「居籠(いごもり)祭」は、天下の奇祭として有名です。



本殿(府登録文化財)

**松尾神社** まつおじんじや D-3


松尾神社は、社伝によると天平勝宝年間(749～757)にはじまる古社で、国の重要文化財に指定されている本殿は、江戸時代の天明6年(1786)に造営された奈良春日大社若宮本殿を文化5年(1808)にこの地へ移築したものです。表門両脇の土塀は、鎌倉時代の瓦を練り込んだ土塀です。



本殿(重要文化財)

**泉橋寺** せんきょうじ D-4

奈良時代の高僧行基(ぎょうき)が、天平12年(740)に開いた泉橋院(発菩薩院:ほつぼさついん)、隆福尼院(りゅうふくにいん)を前身とする寺院で、行基創建四十九院の一つといわれています。境内には五輪塔(重要文化財)があり、地藏堂跡に鎮座する石造地藏菩薩坐像は、高さでは日本一の石地藏として有名です。



表門(市指定文化財)

**蟹満寺** かにまんじ C-1

普門山と号し、かつては紙幡寺、加波多寺とも表記され、白鳳時代の末期に創建されました。「古今著聞集」や「今昔物語集」に出てくる「蟹の恩返し」の縁起と国宝釈迦如来坐像で有名な寺です。釈迦如来坐像は蟹満寺の本尊で、高さ2.4m、重さ約2t余りの銅像です。



本堂

**神童寺** じんどうじ D-3


室町時代に再建された本堂(蔵王堂)は、国の重要文化財です。また、収蔵庫には、国の重要文化財に指定されている木造不動明王立像、木造愛染明王坐像や木造阿弥陀如来坐像など多数安置されています。



蔵王堂(重要文化財)

**椿井大塚山古墳** つばいおおつかやまこぶん C-3

昭和28年、古墳の後円部を南北に走る国鉄奈良線(現在のJR奈良線)の法面拡幅工事が行われた際に、竪穴式石室が発見されました。発掘調査で、石室内から、邪馬台国の女王卑弥呼の鏡とも呼ばれる「三角縁神獣鏡(さんかくぶちしんじゅうきょう)」三十数面を含む四十面近い銅鏡や多くの副葬品が出土し、全国的に大きな注目を集めました。



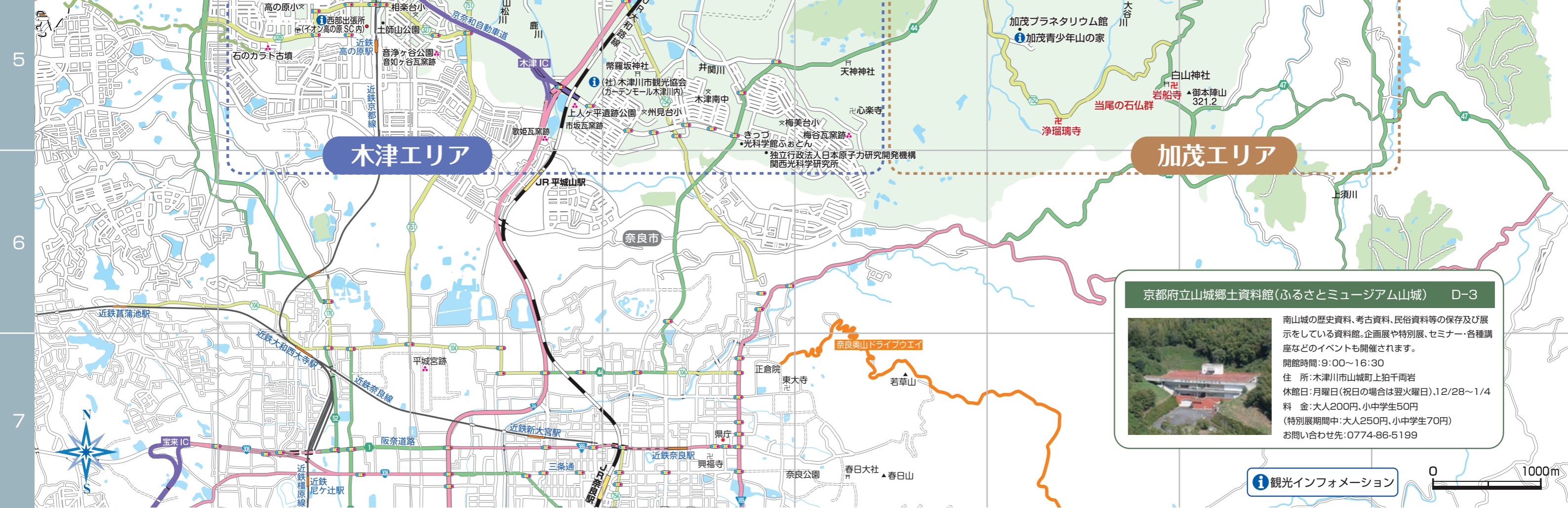
椿井大塚山古墳(国指定史跡)



## 名宝・秘宝に出会える木津川市

木津川市内には、浄瑠璃寺本堂や三重塔・庭園、海住山寺五重塔、蟹満寺釈迦如来坐像をはじめとして、京都府内では京都市に次いで多くの国宝・重要文化財があり、文化財の宝庫といわれています。





**京都府立山城郷土資料館(ふるさとミュージアム山城) D-3**

南山城の歴史資料、考古資料、民俗資料等の保存及び展示をしている資料館。企画展や特別展、セミナー・各種講座などのイベントも開催されます。

開館時間：9:00～16:30  
 住 所：木津川市山城町上狛千両岩  
 休館日：月曜日(祝日の場合は翌火曜日)、12/28～1/4  
 料 金：大人200円、小中学生50円  
 (特別展期間中：大人250円、小中学生70円)  
 お問い合わせ先：0774-86-5199



# Kizu 木津エリア

いにしへの息吹を感じる

**相楽神社 さがなかじんじや C-4**

相楽神社本殿(室町時代初期造営)は重要文化財、相楽神社末社若宮神社本殿(室町時代後期造営)は京都府登録文化財に、神社の森一帯は文化財環境保全地区に、社務所横にある櫻の古木(神木)は「京都の自然200選」に選定されています。正月行事一連(御田:おんだ・豆焼:まめやき・粥占:かゆうら・餅花:もちばな)は府指定無形民俗文化財に指定されています。

**大智寺 だいちじ D-4**

奈良時代に行基によって木津川(旧名:泉川)に架けられた泉大橋は、後に流れ落ちましたが、鎌倉時代に至って、残っていた橋柱から文殊菩薩を刻みだし、伽藍を建立して安置したのが現在の大智寺の前身の橋柱寺と言われています。その後衰退しますが、寛文9年(1669)東福門院の下賜によって本叙が中興、橋柱山大智寺と改号しました。



**安福寺 あんぶくじ D-4**

開基は「往生要集」を著した恵心僧都と伝えられています。平重衡(たいらのしげひら)命終の引導仏と伝えられる本尊「阿彌陀如来坐像」がある本堂は「寂堂(あわんどう)」と呼ばれ、境内には重衡供養塔と云われる「十三重石塔」があり、近くに重衡にかかわる「首洗池(くびあらいいけ)」や「不成柿(ならずがき)」もあります。

**岡田国神社 おかだくにじんじや D-5**

旧社殿は舞台を中心に拝殿・氏子詰所を記する相楽郡地域に伝わる社殿配置形態をとどめています。秋には、江戸末期より始まる御興祭が行われます。敬神組・拝神団の御興が御霊神社に、翌日は岡田国神社、白山神社にそれぞれ町内を練り歩き、午後に各神社への宮入りが行われます。

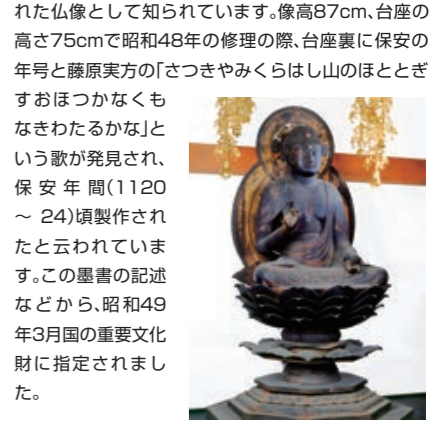


# Kamo 加茂エリア

心に残る風景に出会う

**高田寺 こうでんじ E-4**

本尊薬師如来坐像(重要文化財)は、平安時代の洗練された仏像として知られています。像高87cm、台座の高さ75cmで昭和48年の修理の際、台座裏に保安の年号と藤原実方の「さつきやみくらはし山のほととぎすおほつがなくもなきわたるかな」という歌が発見され、保安年間(1120～24)頃製作されたことと云われています。この墨書の記述などから、昭和49年3月国の重要文化財に指定されました。



**西明寺 さいみょうじ E-3**

加茂盆地大野山の麓にある真言宗の古刹で、僧行基の創建と伝えられています。江戸時代の大規模な洪水で現在地に移動。本尊薬師如来坐像(重要文化財)は、台座とも平安時代当初のもので、像は櫻の一木造で、胎内の銘文から承永2年(1047)9月造立と判明しました。



**恭仁宮大極殿跡 くにきょうだいごくでんあと E-3**

恭仁宮の中心地区である大極殿地区は広い前庭をとめない、前庭から1段高い位置に大極殿が建てられていました。大極殿は、天皇を中心とした儀式や政治を行う上で最も重要な建物でした。現在、東西約60m、南北約30m、高さ約1mの土壇が残されており、これが大極殿の基壇と推定されています。



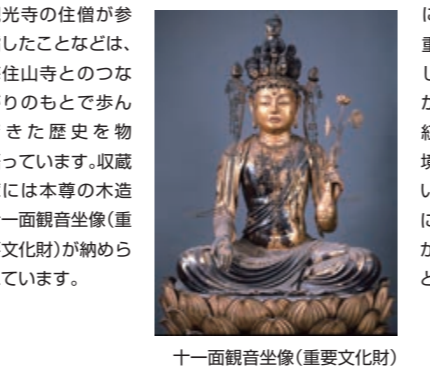
**海住山寺 かいじゅうせんじ E-2**

海住山寺は、天平7年(735)、聖武天皇の勅願により、東大寺の良弁僧正が開創したと伝えられています。山上の伽藍は貞慶が復興してからのもので、本堂の傍らにそびえる五重塔は、山並みに映える鎌倉時代の傑作で、国宝に指定されています。十一面観音立像や文殊堂、絹本著色法華経曼荼羅図、海住山寺文書はいずれも国の重要文化財に指定されています。



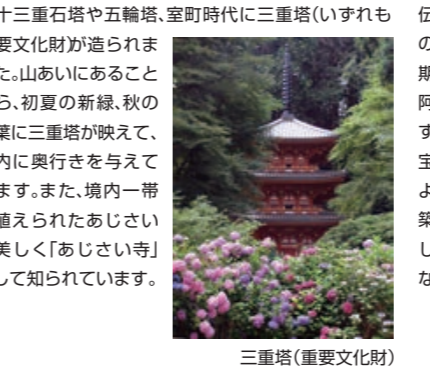
**現光寺 げんこうじ F-3**

元禄10年(1697)に再興された時、海住山寺縁起絵巻の詞書撰者である真敬法親王(興福寺一乘院門跡)が落成を賀したこと、正徳2年(1712)に貞慶上人の五百年忌に際して海住山寺の本堂開帳が行われた時、現光寺の住僧が参詣したことなどは、海住山寺とのつながりのもとで歩んできた歴史を物語っています。収蔵庫には本尊の木造十一面観音坐像(重要文化財)が納められています。



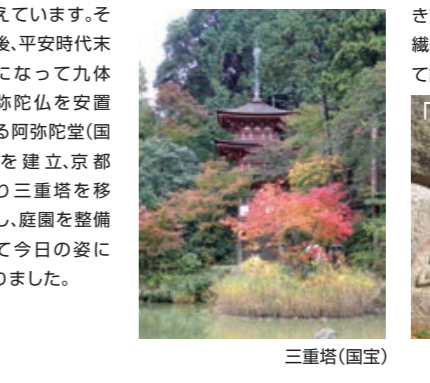
**岩船寺 がんせんじ F-5**

市域の東南部、奈良県境の小田原の東側に位置している古刹。寺の縁起によると、天平元年(729)、聖武天皇の勅願によって開基したと伝えられています。平安時代に本尊阿彌陀如来坐像、普賢菩薩騎象像、鎌倉時代に十三重石塔や五輪塔、室町時代に三重塔(いずれも重要文化財)が造られました。山あいにあることから、初夏の新緑、秋の紅葉に三重塔が映えて、境内に興行きを与えています。また、境内一帯に植えられたあじさいが美しく「あじさい寺」として知られています。



**浄瑠璃寺 じょうるりじ F-5**

寺の縁起には、奈良時代に聖武天皇が僧行基に命じて建立させたのがはじまりと伝えられています。浄瑠璃寺の記録「浄瑠璃寺流記」では、承永2年(1047)に当麻出身の僧義明が薬師如来を安置して開基したことを伝えています。その後、平安時代末期になって九体阿彌陀仏を安置する阿彌陀堂(国宝)を建立、京都より三重塔を移築し、庭園を整備して今日の姿になりました。



**当尾の石仏 とおののせきぶつ F-5**

市内東南部の当尾地区には、多くの石仏や石塔があることで知られています。特に平安時代から修行僧の庵室や行場が設けられていた当尾には、浄瑠璃寺・岩船寺の界隈に、鎌倉時代後期から室町時代にかけて、行き交う人々のために多くの磨崖仏が造立されました。繊細で芸術性の高い石仏が多く点在し、石仏の里として訪れる人が絶えません。

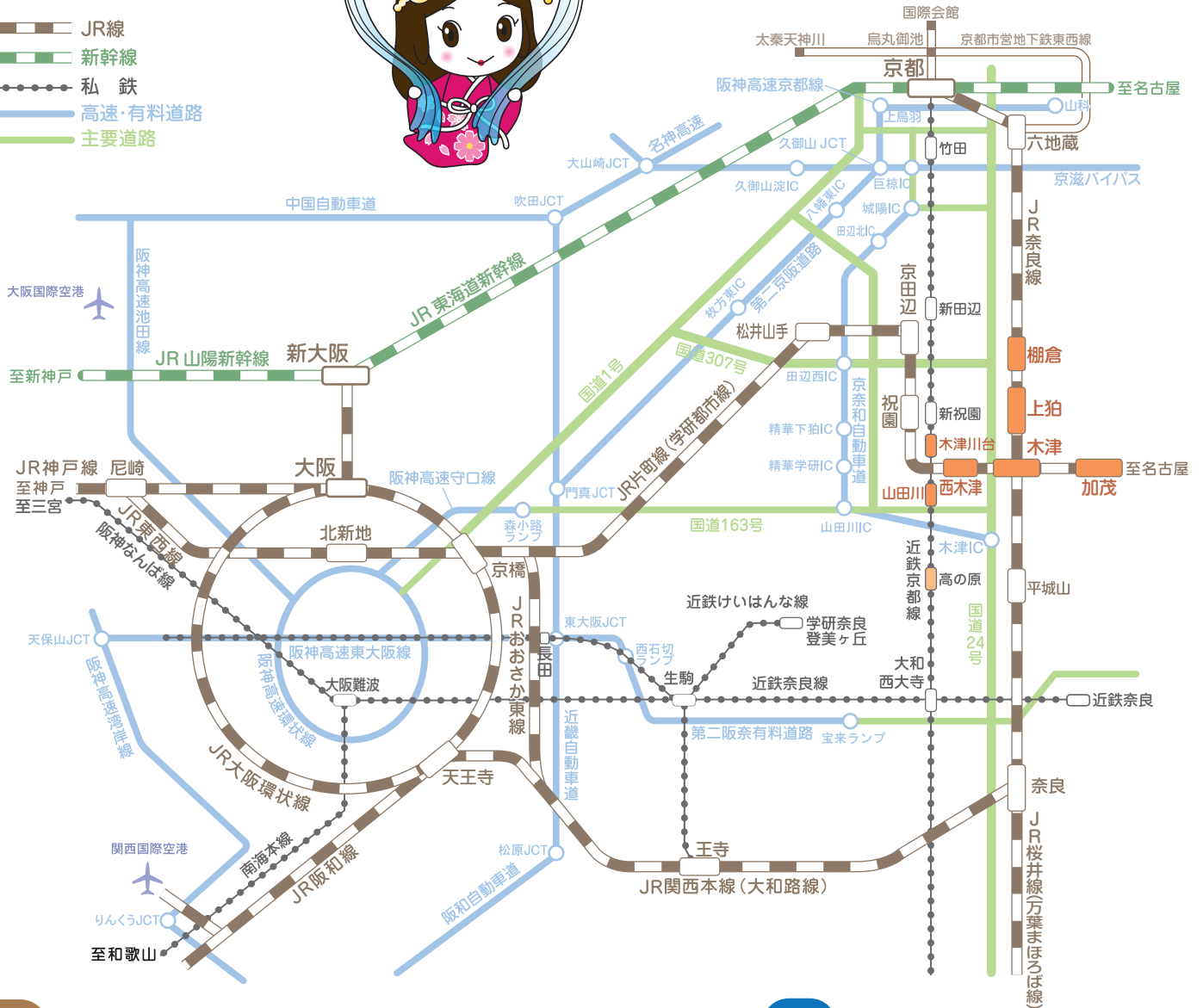
「美しい日本の歴史的風土100選」



# 木津川市への アクセスマップ



- JR線
- 新幹線
- 私鉄
- 高速・有料道路
- 主要道路



## 電車・バスを利用の場合

### 奈良駅から 約9分

- 奈良駅→(JR大和路線快速)→木津駅
- 奈良駅→(JR大和路線快速)→加茂駅(15分)

### 大阪駅から 約60分

- 大阪駅→(JR大和路線)→木津駅
- ※北新地駅→(JR東西線・片町線(学研都市線))→木津駅(約70分)

### JR・近鉄奈良駅からバス 約23分

- 浄瑠璃寺・当尾の石仏・岩船寺へは、浄瑠璃寺行の急行バスが便利です。

### 大阪国際空港から空港バス 約80分

- 大阪国際空港→(空港バス)→JR奈良駅→(JR大和路線)→木津駅
- 大阪国際空港→(空港バス)→近鉄奈良駅→(近鉄奈良線)→大和西大寺駅→(近鉄京都線)→高の原駅、山田川駅

### 関西国際空港から(JR阪和線・環状線) 約90分

- 関西国際空港→(JR阪和線)→天王寺駅→(JR大和路線)→木津駅
- 関西国際空港→(南海線)→大阪難波駅→(近鉄奈良線)→大和西大寺駅→(近鉄京都線)→高の原駅、山田川駅

### 京都駅から 約35分

- 京都駅→(JR奈良線快速)→木津駅
- 京都駅→(近鉄京都線急行)→高の原駅

### 新大阪駅から 約70分

- 新大阪駅→(地下鉄御堂筋線)→大阪難波駅→(近鉄奈良線)→西大寺駅→(近鉄京都線)→高の原駅、山田川駅
- 新大阪駅→(JR京都線)→大阪駅→(JR大和路線)→木津駅

### JR木津駅・加茂駅・棚倉駅、近鉄高の原駅・山田川駅からバス

- 市内には路線バス・コミュニティバスがあります。詳しくはお問い合わせください。

## 車を利用の場合

### 奈良駅から 約15分

- 奈良→(国道24号線・国道163号線)→木津→加茂(30分)
- 奈良→(府道44号線)→加茂(25分)

### 京都駅から 約35分

- 京都→(阪神高速・第二京阪)→八幡東I.C.→(府道他)→田辺北I.C.→(京奈和自動車道)→山田川I.C.または木津I.C.

### 大阪駅から 約50分

- 大阪→(阪神高速・第二京阪)→奈良→木津川市
- 大阪→(阪神高速)→森小路→(国道163号)→木津川市

※仏像等の拝観について…海住山寺の十一面観音立像(表紙)や、仏像等によっては常時拝観できないものがあります。拝観日についてはお寺により異なりますので事前にお問い合わせください。



木津川市観光商工課

京都府木津川市木津南垣外110番地9  
TEL0774-75-1216  
<http://www.city.kizugawa.lg.jp>



一般社団法人 木津川市観光協会

京都府木津川市州見台1丁目1番地1  
ガーデンモール木津川2階  
TEL0774-73-8191・FAX 0774-73-8136

木津川市の詳しい観光情報は <http://www.0774.or.jp>